

2026年度

入 学 試 験 要 項

社会人選抜

人文学部社会科学科

人文学部教育学科

人間環境学部人間環境学科



広島修道大学

目 次

広島修道大学のアドミッション・ポリシー	1
入学試験制度と評価	5
1. 募集人員・出願期間・試験日・試験場・合格発表日・手続期間	12
2. 出願資格	12
3. 試験科目・試験時間・配点	12
4. 選抜方法	12
5. 出願書類	13
6. 入学検定料	13
7. 出願方法	13
8. 障がいなどのある志願者の配慮について	13
9. 受験票の交付について	14
10. 試験日・試験場	14
11. 受験上の注意	14
12. 合格発表	15
13. 入学手続	15
14. 広島修道大学長期履修学生について	16
15. 諸納付金	17
入学志願票記入上の注意	18
試験場案内	20
志望理由書（本学所定用紙）	21
長期履修学生願（本学所定用紙）	25
入学志願票	27

■個人情報の取り扱いについて

出願・入学手続における登録情報および出願書類に記載されている、氏名・性別・生年月日・住所・写真・その他の個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」ならびに学校法人修道学園が定める「学校法人修道学園個人情報の保護に関する規程」および「個人情報の保護に関する方針」にもとづき、取得した個人情報の漏洩、流出、不正利用等がないよう必要かつ適正な管理を行い、入学試験の実施、入学手続、入学予定者に対して行う各種事業、入学者に対する入学後の教育指導および、これらに付随する業務のために使用するほか、個人が特定できない形に処理した上で、入学試験制度に関する各種統計処理等のために利用します。

また、上記業務の一部を外部業者等に委託し、個人データを提供する場合があります。その場合、本学が委託先に対し、契約等により必要な事項等を定めることで、当該個人データの安全管理が図られるよう必要かつ適切な監督を行います。

なお、本学の個人情報保護への取り組みについては、下記の2次元コードからご確認ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/privacy.html>



広島修道大学のアドミSSION・ポリシー

学生の受け入れ方針（アドミSSION・ポリシー）

広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1. 大学での学びに必要な基礎学力を有する人
2. 地域・国際社会における課題を自ら発見し解決していく意欲がある人
3. 主体性を持って多様な人々と協力し価値を創造する意欲がある人
4. 持続可能な社会の創出に積極的に貢献する意欲がある人

各学部・学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度と関連付けて明示し、合否判定にあたっては多面的・総合的に資質や意欲を評価・判定します。

■人文学部

人文学部は、現代社会の課題を理解する能力の育成、コミュニケーション能力の育成、そして情報リテラシーの習得を通して、地球的視野を持つ人材の養成と個性的、自律的な人間を育成することを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1. 求める学生像

人文学部では、現代社会における諸現象・諸問題に関心を持つ人、教育という営みについて多様な視点から考察する意欲を持つ人、英語や英語圏の文化に強い関心と探究心を持つ人、多様な価値観を持つ人々と協力して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的学力として、各学科がそれぞれ定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性等を持つ人を求めます。

2. 人文学部の教育を通じて養う能力

人文学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を通じて、ディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協創力を養い、個性的かつ自律的な「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

■人文学部 社会学科

1. 求める学生像

社会学科は、高等学校卒業程度の学力、すなわち入学後に学士課程教育を受けるに必要な学力を有し、次のような人を広く国内外から受け入れます。具体的には、(1)社会における諸現象・諸問題に関心があり、自ら調査し、考え、他者とコミュニケーションすることによって学ぼうとする人、(2)豊かな人間性を培うために、広い視野を有し、多角的な社会学的視点から実社会を理解しようと努める人、(3)社会学の視角・方法・理論を修得しようと努める人、(4)将来に関して目標を持ち、自己の人生を切り開く能力を身につけようとする人です。

社会学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語・社会科・数学などの教科に関する知識・技能を習得している人。社会の構造、社会に生きる人々の意識や価値観を理解し、社会におけるさまざまな現象や問題・課題について理解・分析し、自身の考えを表現し、他者と議論する際に基礎となる能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

自ら社会的な課題や問題を発見し、その解決に取り組み、成果を社会において表現するのに必要な社会学的思考力・判断力・表現力を修得することに意欲がある人。

(3) 主体性等

激しく変化していく現代社会のなかで多様な価値観を持つ他者に対して理解しようとする態度を備え、主体性を持って多様な人々と学びあい、相互理解をはかっていこうとする意欲がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、英語と国語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2. 社会学科の教育を通じて養う能力

社会学科の教育を通じて養う能力は、以下のような能力です。

- (1) 社会学の知識に基づく視角・方法・理論の成り立ちと現代的展開を自ら学び考えることによって、実社会における現象や問題・課題について、社会学的に理解・分析し、自身の考えを表現できる能力。
- (2) 修得した社会学的知識に基づく視角・方法・理論を持って、自ら社会的な課題を発見し、社会問題の解決に取り組み、その成果を社会的に表現するために必要な社会学的思考力・判断力・コミュニケーション能力。
- (3) 激しく変動していく現代社会において、自ら身につけた社会学的知識を多様な科学や学問に照らしつつ、主体性を持って多様な人々と学びあう能力。
- (4) 国際化を進める社会で活躍できる確かなコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマに関して主体性を持って学問的に追求する能力。

■人文学部 教育学科

1. 求める学生像

教育学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。教育学とは、ある社会・文化における人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかける教育という営みを対象とする学問です。そのため、教育学を学ぶ学生には、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する力を身につける必要があります。

教育学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

教育学の専門分野を学ぶために必要な高等学校までの基礎的・基本的な知識・技能を習得し、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成したり、文章や資料を読んだうえで、知識や経験に照らして自分の考えをまとめたりするなど、それぞれの教科の知識・技能を活用できる力を身につけている人。

(2) 思考力・判断力・表現力

教育学的な視点で自ら問題を発見し、課題解決のため教科等を横断した探究活動ができる力を身につけている人。

情報を多面的・多角的に精査し構造化することを通して、自分の考えを形成し、様々な方法で表現できる力を身につけている人。

(3) 主体性等

学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる態度が身についている人。

多様性を尊重する態度や互いの良さを生かして協働する力が身についている人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、国語については、高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

また、自ら問題を発見し、様々な情報を活用しながら、問題を解決し、それを発信できる言語能力を高めてきてください。

2. 教育学科の教育を通じて養う能力

教育学の学修方法は、「教えるー学ぶ」に関連する理論と実践について、言語、身体、感覚の全てを視野に含みつつ、考察を行うことを基盤としています。その学修方法を通して、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する能力を身につけます。

■人間環境学部

1. 求める学生像

人間環境学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎学力を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、環境問題に広く関心を持ち、その解決に向けて主体的に学習・行動し、持続可能な社会の構築に資する意欲を持つ人材を広く国内外から受け入れます。人間環境学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

- ・高等学校で学習する教科についての基礎的な知識を身につけている人
- ・高等学校等で学習する環境問題についての基礎的な知識を身につけている人
- ・基礎的な知識を伝達するために、外国語を含む基本的な言語運用能力を身につけている人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、理論的・体系的に考えることができる人
- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、問題解決に必要な情報を選択し、解決の方向性について自分の考えを持つことができる人
- ・外国語を含む基本的な言語運用能力を用いて、自分の考えを論理的にわかりやすく表現することができる人

(3) 主体性等

- ・地域社会から地球全体に至る様々な環境問題を自分自身の問題としてとらえ、問題解決のために学ぶ意欲・関心・態度を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、様々な活動に積極的に参加する意欲を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、多様な人々と対話し協働して活動することができる人

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

- ・環境問題に関連する文系・理系の枠組みを超えた専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと
- ・書籍や新聞等を読んで、環境問題をはじめとする国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと
- ・国内外の環境問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるようになっておくこと

2. 人間環境学科の教育を通じて養う能力

社会・文化・経済・政治・法律・自然等、多様な領域に関連させながら、環境問題を総合的に把握・分析するための知識と理解力を身につけ、環境問題を解決するための思考力や判断力を獲得します。そのうえで、多様な人々と協働・協創し、その実現に向けて主体的に行動する能力を身につけます。

人文学部社会学科の入学試験制度と評価

社会学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して選抜します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜（公募）

【専願】

社会学科での学修に意欲を持つ者で、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として個別学力検査と面接に基づいて、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して学生を選抜します。個別学力検査では、語彙力試験および英語力試験により言語運用能力を評価します。さらに、面接に基づいて「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

学校推薦型選抜（公募・専願）では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（公募・併願）では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜（指定校）

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として面接に基づいて、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 社会人選抜

社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、出身学校調査書の内容、社会人としての活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

(8) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(9) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(10) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

（別表）社会学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績（共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定（共通テストプラス方式のみ） ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績（共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜（前期日程、後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題小論文 ・出身学校調査書	◎	・課題小論文 ・面接 ・志望理由書	◎	・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜（公募・専願）	◎	・語彙力試験・英語力試験 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・語彙力試験・英語力試験 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜（公募・併願）	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜（指定校）	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜（附属校）	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

人文学部教育学科の入学試験制度と評価

教育学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、筆記試験に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。また、集団討論に基づいて思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜（公募）

【専願】

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（公募・専願）では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（公募・併願）では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の

推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績に基づいて、日本語運用能力を評価します。そのうえで、面接に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価します。

外国人留学生選抜では、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(8) 社会人選抜

志望理由書に基づいて、教育学科で学修することの意義を理解し、入学を強く希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の学力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

社会人選抜では、資料小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査と小論文に基づいて、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

編入学試験・学士入学試験では、個別学力検査と小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(別表) 教育学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜 (前期日程)	◎	・個別学力検査 ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜 (後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用 選抜 (前期日程、 後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型 選抜	総合型選抜	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・出身学校調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・面接 ・志望理由書	○	・集団討論 ・面接 ・志望理由書
学校 推薦型 選抜	学校推薦型選抜 (公募・専願)	◎	・小論文 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜 (指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

人間環境学部人間環境学科の入学試験制度と評価

人間環境学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を得点化して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、総合型選抜〔レポート方式〕、総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕、総合型選抜〔活動実績方式〕があります。

総合型選抜〔レポート方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、共通のテーマに関するレポート、レポートに関する質疑応答審査、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、出身学校調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔レポート方式〕では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、共通のテーマに関するプレゼンテーション審査、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、出身学校調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜〔活動実績方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、高等学校等での活動実績、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、面接、志望理由書、出身学校調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔活動実績方式〕では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜（公募）

【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜（公募）〔指定資格方式・専願〕があります。

学校推薦型選抜（公募）〔指定資格方式・専願〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語と数学の資格・検定、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（公募）〔指定資格方式・専願〕では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（公募・併願）では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜（指定校）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）

によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

本学への入学を強く希望し、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(7) 社会人選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、面接、志望理由書、出身学校調査書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。社会人選抜では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(8) 帰国生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、総合型選抜と同じ方式で多面的・総合的に評価・判定します。ただし、総合型選抜における出身学校調査書の代わりとなる出願書類の提出を求めます。

(9) 外国人留学生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、日本留学試験（日本語）の成績、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。外国人留学生選抜では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(10) 編入学試験・学士入学試験

第３学年次に修学するために必要な学力を有する者を選抜するために、英語の個別学力検査、小論文、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。

編入学試験・学士入学試験では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(別表) 人間環境学部 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法(◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般 選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型 選抜	総合型選抜 [レポート方式]	◎	・共通のテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する 質疑応答審査 ・出身学校調査書 ・レポート	◎	・共通のテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する 質疑応答審査 ・志望理由書 ・レポート	○	・レポートに関する 質疑応答審査 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 [プレゼンテーション 方式]	○	・共通のテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・プレゼンテーション資料	◎	・共通のテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 [活動実績方式]	○	・共通のテーマに関する筆記試験 ・面接 ・出身学校調査書 ・活動実績	○	・共通のテーマに関する筆記試験 ・面接 ・活動実績 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校調査書 ・活動実績 ・志望理由書
学校 推薦型 選抜	学校推薦型選抜 (公募・専願) [指定資格方式]	◎	・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等証明書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜 (指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

社会人選抜

1. 募集人員・出願期間・試験日・試験場・合格発表日・手続期間

学 部	学 科	募集人員	出願期間	試 験 日	試 験 場	合格発表日	入学手続期間
人 文 学 部	社 会 学 科	若干名	2025年 12月8日(月)	2026年 1月10日(土)	広 島 (本学)	2026年 1月15日(休)	2026年 2月16日(月)
	教 育 学 科	若干名	12月17日(水)				2月20日(金)
人間環境学部	人間環境学科	若干名	(締切日必着)				(締切日消印有効)

2. 出 願 資 格

2026年4月1日現在において、満22歳に達し、以下のいずれかに該当する社会人

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月卒業見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者〔この出願については2025年11月10日(月)までに本学入学センターに問い合わせること。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者（合格見込者）または大学入学資格検定の合格者については問い合わせる必要はありません。〕

※「見込み」で受験した者が2026年3月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学を許可しません。

※【人間環境学部のみ】社会人とは、企業等の在職者、離職者、家事従事者とします。

3. 試験科目・試験時間・配点

学 部	学 科	試 験 科 目		試験時間	配点
人 文 学 部	社 会 学 科	小 論 文	資料小論文	10：00～11：00	100点
	教 育 学 科	面接（個別）	*出願書類にもとづき行う	11：30～	100点
人間環境学部	人間環境学科	小 論 文	資料小論文	10：00～11：00	100点
		面接（個別）	志望理由書＋面接	11：30～	100点

4. 選 抜 方 法

人文学部社会学科・教育学科

出願書類・面接、小論文の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

人間環境学部人間環境学科

小論文、面接、志望理由書、出身学校調査書及びその他の出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

5. 出願書類

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等**を使用し、再記入してください。

①	入学志願票（Ａ）、受験票（Ｂ） （本学所定用紙 27ページ）		志願票記入上の注意（18・19ページ）をよく読んで記入してください。入学志願票（Ａ）と受験票（Ｂ）は一連綴りになっています。
②	出身学校調査書 （出願前３ヶ月以内に発行されたもの）		(1)高等学校または中等教育学校卒業者及び卒業見込み者は、出身学校長が証明した「調査書」（厳封されたもの）を提出してください。 (2)高等学校卒業程度認定試験合格者及び合格見込み者は、「合格（成績）証明書」または「合格見込成績証明書」を提出してください。また、大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」を提出してください。合格証書ではありませんのでご注意ください。
③	人文学部 社会学科 教育学科	志望理由書 （本学所定用紙 21ページ）	本学人文学部社会学科または教育学科を志望する動機・理由及び社会人としての状況を説明してください。
	人間環境学部 人間環境学科	志望理由書 （本学所定用紙 23ページ）	本学人間環境学部人間環境学科を志望する動機・理由及び社会人としての状況を説明してください（800字程度）。
④	長期履修学生願 該当者のみ （本学所定用紙 25ページ）		長期履修学生を希望される方のみ提出してください。 ※長期履修学生制度については16ページを確認してください。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書（原本）を郵送して下さい。

*** 出願書類提出後の変更は一切認めませんので、記入には十分注意してください。**

6. 入学検定料

30,000円 ※入学検定料は郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないで出願書類とともに郵送してください。

7. 出願方法

出願期間：2025年12月8日(月)～12月17日(水)（締切日必着）

- (1)出願書類の受付は郵送に限ります。
- (2)本学所定の「出願用封筒」に必要事項を記入し、出願書類を同封のうえ、必ず**速達・簡易書留**で送付してください。
- (3)出願書類に不備がある場合は受け付けない場合がありますので注意してください。
- (4)郵便事情も考慮して、出願に必要な書類はなるべく早く本学に到着するように送付してください。
- (5)長期履修学生を希望する場合、詳細について**必ず出願前**に本学教学センターまで問い合わせてください。

※長期履修学生制度については16ページを確認してください。

（注意事項）納入した入学検定料及び出願書類は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。出願にあたっては、よく確認して手続をしてください。

8. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮及び入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年11月10日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。

9. 受験票の交付について

- (1) 受験票は郵送により交付しますので、裏面には必ず郵便番号・住所・氏名を明記してください。
- (2) 受験票の発送は郵便事情や願書処理状況により多少遅れる場合があります。
2025年12月25日(木)を経過しても受験票が届かない場合は、本学入学センターへ問い合わせてください。

10. 試験日・試験場

2026年1月10日(土)

広島修道大学（本学）

広島市安佐南区大塚東1-1-1（試験場案内 20ページ）

* 試験場の下見はできますが、建物内に入ることはできません。

11. 受験上の注意

- (1) **試験当日は、9時40分までに各自指定された試験室に入室してください。**
 - (2) 受験票は必ず携行して、各時限とも机の上に置いてください。
 - (3) 毎試験開始後**20分以上**の遅刻者は受験できません。
 - (4) 黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計算機能や辞書機能及び通信機能つきのものを除く）、メガネ、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）以外の使用はできません。
 - (5) 漢字や英単語がプリントされている衣服は着用しないでください。
 - (6) 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等に入れてください。試験時間中にこれらをカバン等に入れずに、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為になります。また、試験時間中にイヤホンを装着している場合も、不正行為になります。
 - (7) 不正行為者には退場を命じ、全科目を無効とします。
 - (8) 試験時間中の退室は認めません。
- 試験室においては、すべて試験監督者の指示にしたがってください。**
- (9) 受験票を忘れた場合や紛失した場合は、入試本部に申し出てください。
 - (10) 試験室には壁掛時計を設置していません。時計を持参してください。なお、計算機能や辞書機能及び通信機能つきの時計は使用できません。また、携帯電話等は時計として使用できません。
 - (11) **1時限目の試験を受験しないと、2時限目以降の受験は認められませんので注意してください。**
 - (12) 積雪等による気象状況の悪化、感染症等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、本学ホームページ（<https://www.shudo-u.ac.jp>）にて延期及び開始時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご覧ください。
 - (13) 感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかっている場合には、受験できません。

感染症（インフルエンザ・はしかなど）による入学試験の欠席及び入学検定料の返還について

- I. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。
- II. I. により本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる入学検定料30,000円を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。

① 入学検定料返還の対象者

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかり、治癒していないために入学試験を欠席した志願者。

② 入学検定料返還の申請方法

(A) 以下の日時に電話をしてください。

受付日：欠席をする試験当日

受付時間：9:00～15:00

電話番号：082-830-1100（広島修道大学入学センター）

注：申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱うこととし、入学検定料は返還いたしません。

(B)以下の申請書類を提出してください。

(a)入学検定料返還申請書〈本学所定用紙〉※電話による申請受付後に本学から郵送します。

(b)診断書 ※以下の内容が記載されているもの

病 名：学校保健安全法で出席停止が定められている感染症
加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

12. 合格発表

合格発表日：2026年1月15日(休) 午前10時(予定)

(1)合格者には、合格発表日に「合格通知書」と「入学手続要項」を速達で郵送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、1月22日(木)を過ぎても届かない場合は、本学入学センターまで連絡してください。

(2)可否確認の補助手段として、合格発表当日の10：00から3日間、本学入試情報サイトにてインターネット合否照会の案内を掲載します。

(注意事項) 合格発表に関する本学への電話等での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

13. 入学手続

(1)入学手続

ア. 手続期間／2026年2月16日(月)～2月20日(金) (締切日消印有効)

イ. 手続内容／【入学金の納入】、【前期分諸納付金の納入】、【インターネット入力】及び【手続書類の提出】

*** 手続期間内に入学手続を完了しない者は、いかなる理由があろうとも、入学を辞退したものとみなし、入学を許可しません。**

*** 2026年2月24日(火)～3月16日(月)の期間内に卒業証明書の原本(既卒者は不要)または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本(見込で受験した者のみ)を必ず郵送してください(締切日消印有効)。**

(2)入学辞退者への入学金を除く前期分諸納付金の返還について

入学手続を完了した後に、本学入学を辞退する方については、**入学金を除く**前期分諸納付金を返還します。

返還を希望する方は、インターネット入学手続の入力画面から「入学辞退届」をダウンロードし、2026年3月31日(火) (16時45分**必着**) までに本学入学センターに郵送してください。

14. 広島修道大学長期履修学生について

1. 長期履修学生とは

長期履修学生とは、広島修道大学の社会人選抜により入学された方のうち、職業を有しているなどの事情により、4年の修業年限を超えて当該学部学科の教育課程を計画的に履修して卒業することを希望し、許可された学生のことを言います。

2. 長期履修学生の修業年限について

長期履修学生の修業年限は、5年、6年、7年または8年となっています。（4年以内での卒業はできません）

3. 長期履修学生の授業料について

長期履修学生の授業料は、履修単位に応じて定める単位制授業料となります。（17ページ 15. (2)参照）

4. 長期履修学生を希望する場合

授業科目は昼間に開講されます。

長期履修学生を希望される方は、詳細について必ず願書提出前に本学教学センター教務第2課または教務第3課まで問い合わせてください。

電話番号：人文学部（教務第2課） 082-830-1122

人間環境学部（教務第3課） 082-830-1306

5. 長期履修学生願について

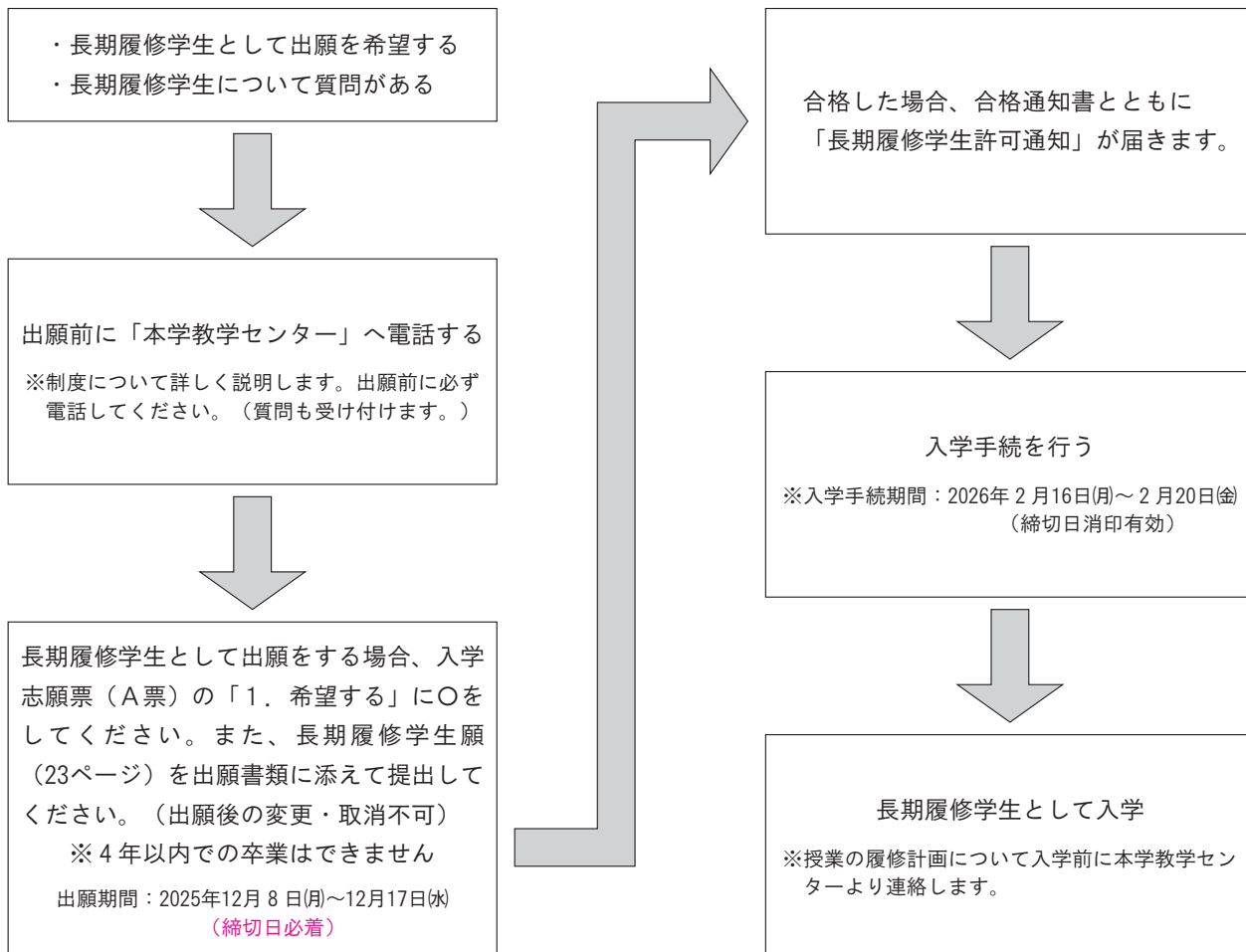
長期履修学生を希望される方は社会人選抜を出願される際に、「長期履修学生願」（本学所定用紙 25ページ）を記入の上、出願書類に添えて提出してください。

（※長期履修学生願を提出した場合、入学後に通常の4年以内での卒業はできませんのでご注意ください。）

6. 長期履修学生としての決定について

長期履修学生として入学を許可された方には、合格通知書とともに「長期履修学生許可通知」を速達で郵送します。

■長期履修学生の出願から入学までの流れ



15. 諸 納 付 金

(1)長期履修学生を除く志願者の場合

人文学部 社会学科

人間環境学部

(単位：円)

区 分			初 年 度		合 計	2 ～ 4 年次の 1 年間あたり	4 年間合計
			一括手続	初 年 度 後 期 諸 納 付 金 (納付期限 9 月30日)			
			入 学 手 続 時				
諸 納 付 金	学 費	入 学 金	220,000※1	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	390,000	390,000	780,000	780,000	3,120,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	そ の 他	後 援 会 費	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	6,000	24,000
	合 計		731,000	500,000	1,231,000	1,011,000	4,264,000

※ 4年間で卒業する場合の諸納付金です。

人文学部 教育学科

(単位：円)

区 分			初 年 度		合 計	2 ～ 4 年次の 1 年間あたり	4 年間合計
			一括手続	初 年 度 後 期 諸 納 付 金 (納付期限 9 月 30 日)			
			入 学 手 続 時				
諸 納 付 金	学 費	入 学 金	220,000※1	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	405,000	405,000	810,000	810,000	3,240,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	そ の 他	後 援 会 費	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	6,000	24,000
	合 計		746,000	515,000	1,261,000	1,041,000	4,384,000

※ 4年間で卒業する場合の諸納付金です。

(2)長期履修学生の場合

(単位：円)

区 分		初年度諸納付金	納 入 時 期		備 考
			入学手続時	前期・後期 [※]	
学 費	入 学 金	220,000 ^{※1}	220,000	0	入学時のみ納入
	単 位 制 授 業 料	1 単位につき 25,000	0	1 単位につき 25,000	下記※参照
そ の 他	後 援 会 費	5,000	5,000	0	
	学 友 会 費	6,000	6,000	0	
合 計			231,000		

※ 1 学校法人修道学園が設置する高等学校出身者の入学金は半額となります。

長期履修学生として入学された方の授業料は、履修単位に応じて定める「単位制授業料」を導入しています。

※ 2 前期の授業料については、履修登録が終了した後5月末までに納入していただきます。後期の授業料については、後期の履修登録が終了した後10月末までに納入していただきます。

(例)

1年次に、履修単位が30単位である場合の初年度に必要な諸納付金は下記の通りです。

入学金	220,000円
単位制授業料 (25,000円×30単位)	750,000円
後援会費	5,000円
学友会費	6,000円
合計金額	981,000円

入学志願票記入上の注意

記入にあたっては、すべてボールペン（黒）で、文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入してください。

（＊欄は記入しないでください。）

入学志願票（A）

(1) 志願学部・学科

志願する学部・学科を記入してください。

(2) 長期履修学生

長期履修学生を希望する人は1を、希望しない人は2を○で囲んでください。
（16ページ参照）

(4) 生年月日・性別

生年月日は、西暦4ケタで記入し、性別は該当する番号を○で囲んでください。
（例）2003年5月15日
生まれの男の場合

(3) 氏名

氏名を姓・名の区分に従い、漢字で明記してください。フリガナ欄は、カタカナで左端から記入してください。濁点「・」、半濁点「゜」も1コマ使用し、姓と名の間は、1マスあけてください。
（例）浅野純平の場合
（アサノ ジュンペイ）

2026年度 広島修道大学 社会人選抜 入学志願票（A）

志願学部	人文		学部	社会		学科					
受験番号			長期履修学生								
＊ W			希望する	①	希望しない	2					
フリガナ			アサノ ジュンペイ			生年月日	性別				
氏名			(姓) 浅野 (名) 純平			西暦年	月	日	① 男	2 女	
出身学校			学校所在地			学校名			高校等コード		
広島			沼田中央			34555A					
設置者			課程			学科			卒業年月		
1 2 ③ 4			① 2 3 4			① 2 3 4 5 6 8 9			1 2026年3月卒業見込 2 2025年3月卒業 3 2024年3月卒業 4 2023年3月卒業 ⑤ 2022年3月以前卒業 6 認定他		
住所			〒731-3195 広島都道府県			広島市安佐南区					
書類送付先住所			大塚2丁目33-150			沼田マンション 203号					
連絡先			自宅 (082) 848 - XXXX			携帯電話 (090) 1234 - XXXX					
履歴			年 月			年 月			年 月		
※欄が不足する場合は、任意書式にて添付ください。											

(5) 出身学校・高校コード・

設置者・課程・学科・卒業年月

学校所在地は都道府県名を漢字で記入し、学校名を正確に記入してください。

高校コードは、本学入試情報サイト（入試情報ページ）で確認してください。

（例）広島県の私立沼田中央高校（高校コード34555A）の普通科を卒業の場合

(6) 住所・連絡先

この住所宛に合格通知書を郵送しますので、郵便番号、都道府県、市、郡、区、町、村、丁目、番地、号、電話番号を正確に丁寧に記入してください。

(7) 写真貼付欄

3 か月以内に撮影した上半身脱帽正面のカラー写真（4 cm×3 cm）を全面糊付けしてください。
写真の裏面に志願学科・氏名を明記してください。

カラー写真
(4 cm×3 cm)

写真の裏に氏名と志願学科を記入し、貼付してください。

受験票（B）表

(1) 氏名

漢字欄は、姓と名をそれぞれの欄に記入してください。
フリガナはカタカナで記入してください。

受験票（B）裏

(1) 郵便番号・住所・氏名

郵便番号、住所、氏名を明記してください。

2026年度 広島修道大学

社会人選抜
受験票（B）

受験番号	* W	
フリガナ	アサノ	ジュンペイ
氏名	(姓) 浅野	(名) 純平

志願学部	人文学部	社会学科
------	------	------

(2) 志願学部・学科

志願する学部・学科を記入してください。

学部	学科	試験科目	試験時間
人文学部	社会学科	小論文	10:00～11:00
	教育学科	面接	11:30～
人間環境学部	人間環境学科	小論文	10:00～11:00
		面接	11:30～

試験日 2026年1月10日(土)

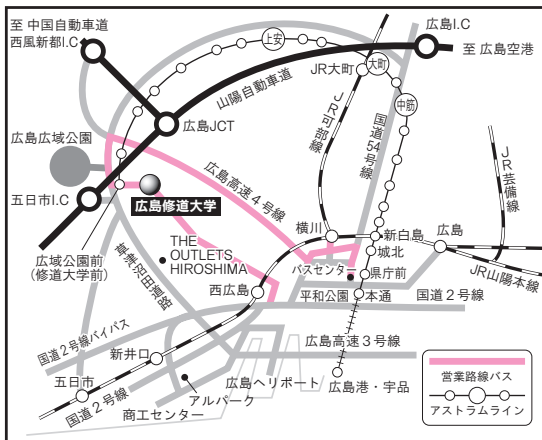
受験上の諸注意

- (1) 受験生は、9時40分までに入室し、受験上の諸注意を受けること。
- (2) 毎試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験できない。
- (3) 筆記用具、受験票は必ず持参すること。
- (4) 試験日に「受験票」を忘れた場合は、直ちに入試本部に申し出て、係員の指示に従うこと。
- (5) 試験室には壁掛時計は設置していない。時計を持参すること。

（裏面に郵便番号、住所、氏名を明記すること）

試験場案内

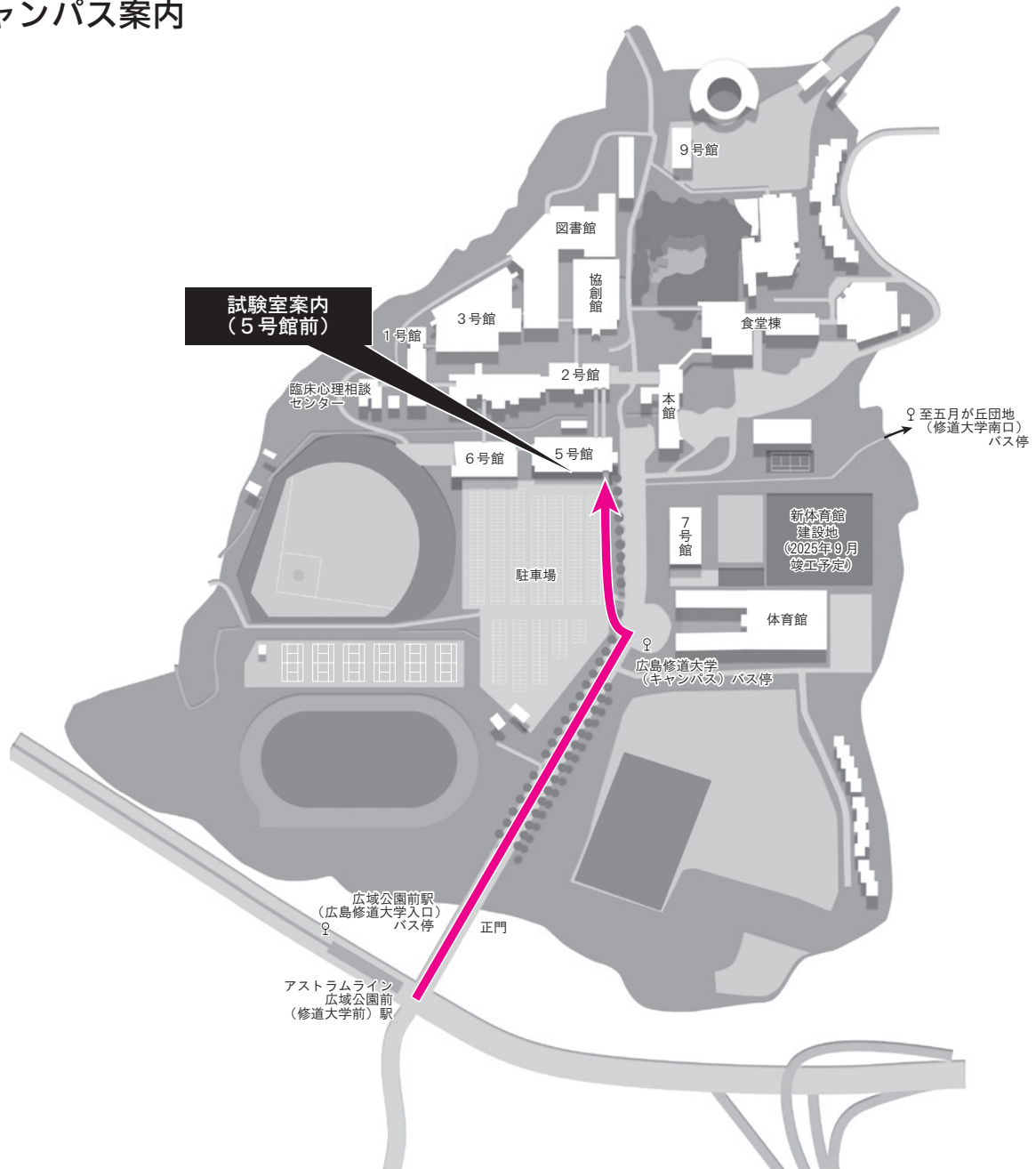
広島修道大学（本学）
広島市安佐南区大塚東 1-1-1



アストラムライン 県庁前駅	約36分	アストラムライン	約32分	広島修道大学 キャンパス バス 停
約3分	新白鳥駅	アストラムライン	約18分	広島修道大学 キャンパス バス 停
約25分	大町駅	アストラムライン	約19分	五月が丘団地 (修道大学南口)
約5分	横川駅	アストラムライン	約37分	広島修道大学 キャンパス バス 停
約7分	横川駅	アストラムライン	約37分	広島修道大学 キャンパス バス 停
約24分	西広島駅	アストラムライン	約37分	広島修道大学 キャンパス バス 停
約30分	本通	アストラムライン	約37分	広島修道大学 キャンパス バス 停
約30分	本通	アストラムライン	約37分	広島修道大学 キャンパス バス 停
マイカー利用	約30分	アストラムライン	約37分	広島修道大学 キャンパス バス 停

広島修道大学

キャンパス案内



[illegible]

1000字

1400字

本学**人間環境学部人間環境学科**を志望する動機・理由及び社会人としての状況を説明してください。
 なお、この志望理由書は、志願者本人の自筆・横書き（黒ボールペン）で作成してください。（800字程度）

※記入しない
W

[illegible]

[illegible]

1000字

切り取り線

(長期履修学生願を提出した場合、入学後に、通常の4年以内での卒業はできません)

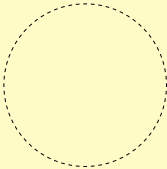
切り取り線

(本人切り離し)

2026年度 広島修道大学 社会人選抜 入学志願票 (A)

志願学部 学科	学部																学科		
受験番号				長期履修学生														*欄は記入しないこと。	
* W				希望する		1		希望しない		2									
フリガナ															生年月日			性別	
氏名															西暦年	月	日		
出身 学校	学校所在地				学校名				高校等コード				卒業年月			1	男		
	都道府県				高等学校											2	女		
設置者	課程				学科				卒業年月			1	2026年3月卒業見込						
												2	2025年3月卒業						
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	8	9	3	2024年3月卒業		
国立	公立	私立	認定他	全日制	定時制	通信制	認定他	普通科	理数科	農学科	工業科	商業科	総合学科	高卒認定	その他	4	2023年3月卒業		
																5	2022年3月以前卒業		
																6	認定他		
住所	書類送付先住所		〒 都・道 府・県																
	連絡先		自宅 () - 携帯電話 () -																
履歴 (学歴及び職歴) について記入 ※欄が不足する場合は、任意書式にて添付ください。		年 月																	
		年 月																	
		年 月																	

カラー写真
(4cm×3cm)
(写真の裏に氏名と志願
学科を記入し、貼付し
てください。)



(切り離さないで提出)

2026年度 広島修道大学
社会人選抜
受験票 (B)

受験番号	* W		
フリガナ			
氏名	(姓)	(名)	

志願学部 学科	学部		学科
------------	----	--	----

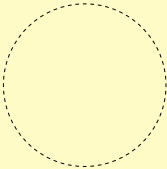
学部	学科	試験科目	試験時間
人文学部	社会科学	小論文	10:00~11:00
	教育学	面接	11:30~
人間環境学部	人間環境学科	小論文	10:00~11:00
		面接	11:30~

*欄は記入しないこと。

試験日 2026年1月10日(土)
受験上の諸注意

- 受験生は、9時40分までに入室し、受験上の諸注意を受けること。
- 毎試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験できない。
- 筆記用具、受験票は必ず持参すること。
- 試験日に「受験票」を忘れた場合は、直ちに入試本部に申し出て、係員の指示に従うこと。
- 試験室には壁掛時計は設置していない。時計を持参すること。

(裏面に郵便番号、住所、氏名を明記すること)



速達

郵便はがき

--	--	--	--	--	--	--



様

広島修道大学 入学センター

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
☎082-830-1100(直通)

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号 広島修道大学 入学センター

TEL 082-830-1100（入学センター）
<https://www.shudo-u.ac.jp>（ホームページ）
<https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>（入試情報サイト）